

平成24年死亡災害発生状況

静岡労働局 健康安全課

No	発生月 発生時間	業種	事業規模	事故の型 起因物	発生状況
1	1月 16～17時	その他の 小売業	10人未満	墜落、転落 屋根・はり・も や・けた・合掌	被災者は2階屋根上に設置されているテレビアンテナのブースター器交換作業を開始した。その約30分後、道路に倒れて頭から出血した被災者を通行人が発見した。被災者の近くに交換後のブースター器、1階屋根から2階屋根に昇降するためのルミ製のはしご等が残っていた。なお、屋根の端から墜落防止措置(安全帽、安全带等を含め)なかった。またはしごを固定していた番線が2階屋根上の樋に残っていた。
2	1月 16～17時	その他の林業	10人未満	墜落、転落 地山・岩石	災害発生当日に間材作業を元請け労働者と6名で行っていたが、作業終了時刻を過ぎても被災者が集合場所に戻ってこなかった。翌朝、間材現場の崖下(約80m)で死亡しているのを発見された。なお、災害発生時刻は推定である。
3	2月 15～16時	河川土木 工事業	10～29人	はさまれ、 巻き込まれ 掘削用機械	護岸ブロック築造のために河川内に土台部を掘削し、掘削部の押さえのための土のう(フレコンバック:1t)をドラグショベル(移動式クレーン仕様)で運搬中、土のうを玉掛けし、玉外し箇所に行こうとした被災者が旋回体と護岸法面との間に胸部をはさまれた。
4	2月 14～15時	土地整理 土木工事業	10人未満	激突され その他の建設 機械等	津波被害に対する避難場所整備工事において、斜面で伐採木を集材作業中、Y字型の木の方の端にワイヤーを取り付け、バケットをアイアンフォークに変えたバックホウで引っ張り、斜面に対し、縦に引きずってきたところ、Y字のもう一端が地面に引っかかり、木が横に向いてしまい、少し離れていたところで合図を送っていた被災者が避けきれず激突した。
5	1月 13～14時	その他建設業	10人未満	墜落、転落 地山・岩石	現場監督(元請)と被災者を含め下請の作業員3名が林道沿いの電線に接触する等支障がある立木を単独で伐採していた。途中、被災者の叫び声があり、現場監督らが声のしたほうに行ってみると、被災者は30メートル滑落していた。なお、被災者は、作業場所の林道脇の檜の立木をチェーンソーを使用して枝、幹を伐採しており、檜の木は根元から幹を約2メートル残して切断されていた。安全带等の墜落防止の措置はなかった。
6	2月 11～12時	一般貨物 自動車運送業	50～99人	はさまれ、 巻き込まれ フォークリフト	被災者はヘッドガードの上に乗し、上方からフォークリフトの崩れた荷を直そうとしたところ、墜落。マストとヘッドガードの支柱の間に挟まれた状態となった。その際、足がフォークリフトのティルト操作レバーに当たり、結果的に動くマストとヘッドガードの支柱に体が押しつぶされ意識不明の重体となった。その後、搬送先の病院で死亡した。
7	3月 5～6時	一般貨物 自動車運送業	10～29人	交通事故 (道路) トラック	県内国道の上り線(片側2車線)で被災者が運転するトラックが右カーブを曲がりきれず横転し、外側のガードレールにトラックの後部から衝突し、頭部を打って死亡した。
8	3月 5～6時	一般貨物 自動車運送業	100～299人	墜落、転落 階段・棧橋	朝礼、点呼のため被災者を除く作業員はスタッフルームに集合していたが、被災者の姿が見えなかったのでスタッフルームのドアを開けて外に出たところ、階段下に被災者が倒れているのを発見した。その後、搬送先の病院で死亡した。
9	3月 8～9時	その他の 小売業	10人未満	交通事故 (道路) トラック	営業の被災者が客先に荷物を届けるため、会社の中型トラックに荷物を積み込み、高速道路(上り線)を走行中、朝の通勤時間帯の渋滞で停車していた自動車運搬車に追突した。この弾みで次々と玉突き事故が起り、被災者は病院に搬送されたがその後、死亡した。他関連する車両の運転手等6人が負傷を負った。
10	3月 13～14時	病院	30～49人	墜落、転落 階段・棧橋	被災者は1階で業務を行った後、2階にある病室に行く途中(推定)、階段の踊り場付近から転落し後頭部を強打し、その後、死亡した。
11	4月 13～14時	その他の 教育研究業	10人未満	墜落、転落 その他の 装置・設備	被災者が、生徒とインストラクターの2人乗りパラグライダーの離陸補助をしていたところ、被災者の左腕がパラグライダーのハーネスに引っ掛かった状態で離陸し、被災者が数10メートル上空から山中へ墜落し、死亡した。
12	6月 11～12時	道路建設 工事業	50～99人	激突され 立木等	傾斜地(約33度)で、胸高直径約45cm、長さ約21mの立木を伐倒後、根元に掛けてあった跳ね防止ワイヤーを外し、片づけ作業を行っていたところ伐倒木が突然滑り落ち、被災者に激突し、死亡した。

平成24年死亡災害発生状況

静岡労働局 健康安全課

No	発生月 発生時間	業種	事業規模	事故の型 起因物	発生状況
13	6月 2時～3時	一般貨物自動車運送業	50～99人	交通事故 (道路) トラック	被災者は県外高速道路の上り線を走行中、追越し車線に停車していた故障車に衝突し、死亡した。
14	6月 10時～11時	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築 工事業	10人未満	墜落、転落 屋根・はり・も や・けた・合掌	被災者は解体工事現場で屋根のスレートをはがす作業中、スレートをはがした後、下地の野地板にのってしまい踏み抜き、約4.3mの高さから建屋外側のコンクリート土間に墜落し、心肺停止状態で病院に運ばれたが、その後死亡が確認された。
15	1月 9時～10時	一般貨物自動車運送業	10～29人	その他 トラック	被災者は県内の工場から箱詰めの茶葉を他県の事業場に運送するにあたり、10トントラックを運転して当該事業場に午前1時30分頃に到着した後、そのままトラックの運転席で仮眠し、午前8時50分頃から荷降ろしを行っていたところ、突然倒れ意識不明となり、病院に搬送されたがその後、死亡した。
16	6月 12時～13時	トンネル建設 工事業	30～49人	崩壊、倒壊 人カクレーン 等	河川地下を横断する延長1000mのシールド工事において、シールドマシンを到達坑内で解体中、マシンから重さ約1.2トンのベアリング部品を引き抜く作業中、坑内壁に取り付けたチェーンブロック2台と転倒防止のためにシールドマシン上部に取り付けたレバーブロックを使って作業を行っていた際、レバーブロックのチェーンが外れ、ベアリング部品が転倒し、作業を行っていた被災者を含む2名が死傷を負った。
17	7月 8時～9時	その他の 建築工事業	10～29人	墜落、転落 屋根・はり・も や・けた・合掌	台風により損傷を受けた工場の屋根の修繕工事において、取り替えた屋根部材を固定するボルトを本締めする作業を予定していた。被災者及び2名の同僚で作業を開始したが、その直後に被災者が明り取りとして設置されていたFRP板を踏み抜き、高さ約13mから工場建屋内のコンクリート面へ落下し、死亡した。
18	6月 8時～9時	パルプ・ 紙製造業	50～99人	はさまれ、 巻き込まれ ロール機(印刷 ロール機を除く)	抄紙機で紙切れが発生し、被災者を含む3名でプレスロールから約100℃に熱せられたドライヤーロールへの紙通し作業を行っていた。この作業中被災者がドライヤーロールとカンパスの間に右足を巻き込まれ、そのまま身体全体がドライヤーロールとカンパスの間に約半周巻き取られる形で挟まれた。その後、病院にて治療を行っていたが様態が急変し、後日死亡したものの。
19	7月 12時～13時	警備業	30～49人	交通事故 (その他) 鉄道車両	JR線の駅構内で電車線(電線)の碍子交換等工事において、当該工事の下り線の中継列車見張り員として、当該工事箇所から東に約2km離れた駅構内のホームで業務を行っていた被災者が、昼の休憩後の作業開始前に立哨予定付近の下り線内で通過した特急列車に触車し死亡した。
20	7月 9時～10時	製材業	50～99人	はさまれ、 巻き込まれ 丸のこ盤	火打加工機(丸のこ盤)による加工作業中にトラブルにより機械が停止した。被災者は機械の中をのぞき込みトラブルの原因となった大鋸屑を取り除こうとした際に、何らかの原因により機械が動き出し送材装置とフレームの間に頭部を挟まれ死亡した。
21	7月 15時～16時	木造家屋建築 工事業	10人未満	高温、低温の 物との接触 高温・低温 環境	被災者は午前10時より災害発生現場での作業を開始。午前中2名で足場に飛散防止ネットの取り付け作業を行った。もう1名が別現場に移動し、午後1時より1人で高圧洗浄機を用いた外壁の洗浄作業を行っていた被災者が午後3時頃近くの公園にてふらふらと倒れそうになっているのを近所の住民により発見され、救急車で病院へ運ばれたが翌日熱中症により死亡した。
22	8月 4時～5時	一般貨物自動車運送業	10～29人	交通事故 (道路) トラック	被災者は、トラックで他県に荷を納品した。納品終了後県内にある自社へ帰るため、納品先から出発。帰路の途中、県外高速道路の下り線を走行中パーキング出口合流付近のガードレールを突き破り、50m下の川へトラックごと転落し、全身打撲により死亡した。
23	8月 10時～11時	農業	10～29人	はさまれ、 巻き込まれ トラック	高速道路下り線で、中央分離帯の草刈り作業で刈った草をプラスチック製の箕に入れ、パッカー車に刈草のみを投入すべきところ、被災者が箕も一緒にパッカー車に入れてしまったため、被災者がとっさに箕を取ろうとしてパッカー車の回転板に上半身を巻き込まれ死亡した。

平成24年死亡災害発生状況

静岡労働局 健康安全課

No	発生月 発生時間	業種	事業規模	事故の型 起因物	発生状況
24	8月 15時～16時	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築 工事業	10人未満	飛来、落下 金属材料	鉄骨・鉄筋コンクリート造10階建の建物を、5階建に改修する耐震補強工事において、7階スラブ上でコンクリート外壁(パイプスペース)部をワイヤーソーを用いて切断する運転作業を行っていたところ、ワイヤーソーのジョイント部より、金属片(ダイヤモンド入り)ピースが外れ、被災者の右胸部に飛来し肺を貫通した。その後、直ちへ病院に搬送されたが出血性ショックにより死亡した。
25	9月 11時～12時	その他の 建築工事業	10人未満	飛来、落下 金属材料	コンクリート2次製品製造工場の解体工事で使用した足場を解体する作業において、足場の4層目の作業床にいた作業者が持っていた足場部材の筋かい2組のうち、1組が落下し、地上でその筋かいを受け取ろうとしていた被災者の鎖骨を貫通して胸まで到達、その後、出血性ショックで死亡した。
26	9月 9時～10時	通信業	10～29人	墜落、転落 地山・岩石	被災者は携帯電話のアンテナの保守点検作業を行うため、一人で山中の登山道をアンテナ塔へ向かって歩いていたら、当該登山道から最大斜度約35度の箇所を約1m滑落した。これにより背負っていた機材を自力では引き上げられなくなったため、携帯電話を使って事業主に応援を頼んだが、事業主の手配により現場に到着した同僚により、滑落した箇所より15m離れた箇所まで膝をついてうつ伏せで死亡している被災者が発見された。
27	10月 3時～4時	公園・遊園地	100～299人	激突され その他の 環境等	母親のアジア象が平成24年10月に出産した仔象を攻撃していたため、被災者を含めた3名の飼育員が母親象の檻の中に入り、母親象と仔象を引き離そうとしていたところ、被災者が母親象に鼻で飛ばされ、仰向けに倒れたところを足で踏まれたもの。その後、搬送先の病院で死亡が確認された。
28	10月 11時～12時	その他の 建築工事業	10～29人	墜落、転落 足場	2階建住宅の屋根張替工事現場において、屋根等を外し、新しい屋根の下地を作成していた。被災者は、住宅の南東側の破風板の上部に取付ける板を釘止めする前に、釘を打込む箇所を側面より確認すべく、住宅の外周に設けられた一側足場の3層目の手すりの上に両足で乗り、かがみながら足場の外周に設けられていたネットに寄りかかるようにして確認していたところ、固定していたネットの紐が切れ、約6m下に落下したものの。
29	10月 9時～10時	その他の事業 -その他	10人未満	おぼれ 水	堤防先端にある灯台の塗り替え工事にかかる足場の見積りのための現場確認を行い、戻るために堤防上を移動中、高波に流されて海中に転落、3日後に遺体で発見された。
30	10月 14時～15時	その他の事業 -その他	10人未満	おぼれ その他の乗物	河川の土砂の堆積具合を、被災者を含め3名で右岸と左岸に分かれて測量中、別の場所まで船外機付きゴムボートに乗り移動していたところ、左岸側の岸から出ている10mほどの倒木(直径約40cm)の枝に、当該ゴムボートが当たり、その反動で被災者のみが川へ投げ出され下流に流された。その数日後に約3.5Km下流で遺体として発見された。(ライフジャケットは着用していた。)
31	8月 16時～17時	自動車・同付 属品製造業	50～99人	高温、低温の 物との接触 高温・低温環 境	工場内で所定終業時間の直前に行われる清掃中に、被災者が倒れているのを他工程の作業者が発見して声を掛けたが意識がない状態であったため救急車を要請し病院へ搬送されたが、翌日死亡が確認された。
32	11月 10時～11時	道路建設工事業	10人未満	激突され 立木等	林道拡幅工事に伴う立木の伐採作業中に、伐倒木(胸高直径約20cm、長さ約15m)が当初予定していた方向とは違う方向に倒れ、付近で何らかの作業又は移動をしていた被災者に当たり、翌日死亡した。
33	11月 2時～3時	警備業	10人未満	交通事故 (道路) 乗用車・バス・ バイク	県外の国道道路修繕工事現場に軽自動車が入り込み、現場にいた被災者(警備員)と下請の代表者の2名が死亡し、現場監督員1名が重傷を負った。現場は、片側3車線の見通しの良い直線道路で、当時は中央分離帯側の1車線を塞いで舗装工事を行っていた。なお、軽自動車の運転手は飲酒運転であった。

平成24年死亡災害発生状況

静岡労働局 健康安全課

No	発生月 発生時間	業種	事業規模	事故の型 起因物	発生状況
34	11月 5時～6時	警備業	50～99人	交通事故 (道路) 乗用車・バス・ バイク	警備員の被災者が出勤後、バイクに乗って勤務先の港のゲートに向かう途中、側道から臨港道路に乗り入れるT字路を右折しようとした際、臨港道路左から被災者側の側道に右折してきたタンクローリーが通り過ぎた後、バイクを発進させたところ、臨港道路右側から走行してきた軽自動車に衝突した。当該T字路は信号機が設置されていて、事故時は被災者側が赤の点滅信号、臨港道路側は黄色の点滅信号であった。
35	5月 5時～6時	その他の 食料品製造業	30～49人	その他 起因物なし	茶市場で買い付けした新茶の確認作業を行っていた被災者が急に「腰が痛い。」と言いだし、その後「心臓が痛い。」と言って倒れ込んだため、救急車で搬送されたが、急性大動脈乖離により死亡した。災害時は新茶シーズンの繁忙期であったこともあり、被災者の死亡直前1ヶ月の時間外労働時間は130時間を超える長時間労働であった。これらにより、業務上として労災認定がなされた。